

社報 龜ヶ池

かめがいけ

元気泣いて
萬歳楽!

初土俵だ!
はっけよい!!



一心泣き相撲「亀ヶ池場所」



北相模総守護社
亀ヶ池・八幡宮
<http://www.kamegaiki.jp/>

No.23
平成29年7月

平成29年7月

社報 龜ヶ池

第23号(4)

正式参拝 報告

平成28年6月～
平成29年3月末日

正式参拝とは、広くは昇殿参拝を意味し、拝殿の中に上がって玉串を奉奠しお参りすることです。通常の一般祈祷とは違い、個人や団体としてそれぞれ参拝する旨を神様にお伝えする昇殿参拝のことです。平成28年6月から平成29年3月末日まで当八幡宮に正式参拝をされた各種団体等をご紹介します。



平成28年10月6日 東京都神社庁
文京区支部・文京区神社総代会30名



平成28年9月25日
埼玉県西郷氷川神社・栄和東神社総代会38名



平成28年9月13日
千葉県神社庁東葛飾支部6名



平成28年6月7日 東京都神社庁
葛飾区支部・葛飾区神社総代会60名



平成28年11月6日
相模原青年会議所150名



平成28年10月14日
東京都神社庁墨田区支部・墨田区神社総代会80名



平成28年10月11日
東京都神社庁神道婦人会18名



平成28年12月22日
神奈川県議会議員松田良昭後援会女性部33名



平成28年12月6日
千葉県神社庁安房支部内長狭地区神社総代会37名その2



平成28年12月6日
千葉県神社庁安房支部内長狭地区神社総代会33名その1



平成29年3月17日
古事記のころを学ぶ会20名



平成29年2月26日
千葉県高瀬神社氏子総代会25名



平成29年1月22日
東京都堀切氷川神社崇敬会170名

ご案内

平成二十九年例大祭斎行

ご創建以来連綿と絶えることなく斎行されてきた当八幡宮の例大祭を、左記の通り執り行いますので、お気軽にご参拝ご観覧下さいますようお願いいたします。

日時：平成二十九年九月十七日(日)

例大祭(御社殿)……午前10時斎行

奉納剣道(境内)……午後一時

神代神楽(神楽殿)……午後三時

余興(神楽殿)……午後六時

お囃子(囃子やぐら)……終日(適宜)

七五三祝児無事成長祈願祭

七五三祝は、古くは平安時代より公家の間で、江戸時代に入り庶民に広まったものです。当八幡宮では、十月初旬頃より十一月末までお子様の健やかな成長を願って七五三祈願祭を斎行いたします。なお、すこやかバック(貸衣装・美容・着付・写真)の試着予約会を行います。ご祈祷同様ご希望の方は当八幡宮社務所へお問い合わせ下さい。

●ご祈祷・すこやかバックの予約受付……六月より

●ご祈祷時期……十月より十一月末

●すこやかバック試着予約会日程

8月26日・27日

9月2日・3日・9日・10日・

23日・24日・30日

10月1日・7日・8日・9日

平成三十年新年祈願祭受付

「二年の計は元旦にあり」人は皆新年を迎えたと希望や夢をふくらませ神社に初詣されています。

当八幡宮では、無料大駐車場を完備し、初詣の皆様をお迎えしています。

家内安全・厄除け・商売繁盛・交通安全等のご祈祷予約を十一月より受け付けいたしますので、当八幡宮社務所へご連絡下さい。

【発行・お申し込み・お問い合わせ】 亀ヶ池八幡宮社務所
〒252-0243 神奈川県相模原市中央区上溝1678 TEL.042-751-1138 FAX.042-757-3811
E-mail:info@kamegaiki.jp URL <http://www.kamegaiki.jp/>

亀ヶ池・八幡宮 神社本廳総長 田中恒清氏
【表紙社名】 神社本庁 総長 石清水八幡宮 宮司 田中恒清氏

一心泣き相撲

第七回「亀ヶ池場所」開催

五月十四日好天のもと、一心泣き相撲第七回「亀ヶ池場所」が、神門下にて開催されました。

泣き相撲は赤ちゃんの健康と成長を祈願する日本の伝統行事です。赤子の泣き声が邪を祓った故事を由来とし、四百年以上の歴史を有します。

化粧廻しを締め兜をつけ、赤ちゃんは力士に抱えられて人生初土俵へあがります。行司の合図のもと取り組みが開始されると一心に泣きじゃくる赤ちゃん。その声に生命の息吹を感じてきたのでしょうか。邪氣が祓われたところで行事が「嬰兒泣きたるは万歳楽」と勝負を預かり、引き分けとなります。

「たくましく、泣いてほしい」ご家族のその願い以上に泣く赤ちゃん、なかなか泣かない赤ちゃん様々ですが、笑顔ほころぶ和やかな行事となりました。



参拝研修旅行

相模原市氏子総代会 甲府稲積神社 参拝研修旅行

去る3月31日、相模原市氏子総代会 第3回神社参拝研修旅行が実施されました。早朝より亀ヶ池八幡宮に参加者約40名が集合し、甲府稲積神社を目指して出発しました。

定刻通りに到着し、正式参拝致しました。甲府稲積神社は「正の木さん」と親しまれるお稲荷様が祀られている神社です。篠原権禰宜様には由緒等について丁寧なお話を戴きました。

次には一行は山梨県立博物館を見学し、山梨県の歴史を学んだ後、午後に都留市のリニア実験センターを見学しました。リニア新幹線は神奈川県唯一の駅が相模原市に誕生する予定で、開通が待ち望まれています。研修の参加者は運良く実際に走行実験している車両を見学することができ、目にも留まらぬ速さを目の当たりにすることができました。続いて富士御殿場のキリンディスティラリー蒸留所の工場見学をしました。

山梨から静岡にかけて富士山を半周するように各所を見学して貴重な経験を得た実りある研修となりました。

亀ヶ池八幡宮総代世話人研修 栃木県・須賀神社を参拝

当八幡宮の日帰り参拝研修旅行が去る4月26日に開催されました。根岸宮司以下職員総代世話人の一行は、圏央道東北道を通り一路栃木県小山市に鎮座する須賀神社へと向かいました。

須賀神社は創建より1080年という歴史があり、藤原秀郷公が京都の八坂神社より勧請し創祀されたと伝えられます。現在の地に遷ってからも860年ほどの歴史がある神社です。正式参拝後は沼部宮司様による講話の中で、宝物である朱（あか）神興の説明を戴き、また創建1050年記念によって造営された神門の説明に耳を傾け一行は大変感銘を受けました。

その後は昼食をはさみ、とちぎ蔵の街を散策し、とちぎ山車会館を見学しました。続いて神明宮を自由参拝した後、佐野市へ移動し葛生化石館にて様々な貴重な化石を見学をして一行は帰相いたしました。

亀八招福稲荷神社 石玉垣および赤鳥居竣功

初午祭並びに 石玉垣竣功奉告祭

梅香る二月十二日、竣功なった真新しい石玉垣によって益々神々しく御神威を増した亀八招福稲荷神社大前にて、石玉垣刻名にご奉賛頂いた方々参列のもと「初午祭並びに石玉垣竣功奉告祭」が執り行われました。

お稲荷様の総本宮である京都の伏見稲荷大社に神様がお鎮まりになった二月初午の日を縁日として毎年行われております。当日参列された皆様は、商売繁盛や家内安全を祈願されていきました。



赤鳥居竣功奉告祭 （通り初め）

四月二十九日、「亀八招福稲荷神社赤鳥居竣功奉告祭並びに通り初め式」を肅行致しました。祭典の後、麗らかな日差しの中、齋主、副齋主に続き、根岸宮司以下参列者が揃って、緑鮮やかな境内に映える赤鳥居をくぐり、参道を進んで亀八招福稲荷神社へと参拝しました。

この赤鳥居は柱を京都北山杉、笠木を吉野杉に銅板を葺いており、これらの大変立派な資材を経験豊かな職人の手によって奉製されました。お越しの際にはぜひこの赤鳥居をくぐってご参拝下さい。



節分祭斎行

一厄を祓って清々

毎年恒例の神事「節分祭」が2月3日に斎行されました。

豆撒き行事は鬼の目をあらわす魔の目（魔目）に豆をぶつけて魔を滅する（魔滅）ということにちなみ邪気を追い払い、一年の無病息災を願うという意味合いが込められています。

昇殿された年男男女や厄年の善男善女はお祓いを受けた後、大太鼓に合わせ追儼板を力強く打ち鳴らすと大きな声で邪鬼・赤鬼青鬼を退散させ災厄を祓いました。その後神楽殿廻廊の特設舞台に移り「福は内、鬼は外」と大きな声を発しながら豆撒き神事を行いました。

大勢の参拝者は福を得ようと一生懸命に手を伸ばし福豆を拾っていました。

多くの福物を御協賛下さいました氏子崇敬者の皆様に篤く感謝申し上げます。



夏越大祓式 茅の輪くぐり神事

清き瀬に夏越の祓へしつるより八百万代は神のまにまに（和泉式部集）

日本古来の伝統的な行事である大祓は、神話に基づいた「よみがえり信仰」の根源となる神事です。日々の生活の中で知らず知らずのうちに身についた罪や穢れを祓い清め、心身を一新し災厄を退け今後半年間の無病息災を祈願するという意義があります。

六月二十五日午後三時、白装束を纏った根岸宮司以下神職に合せて参列者の皆様は大祓詞を奏上し、その後、列になって境内に設けられた青々とした茅の輪をくぐりました。茅の輪をくぐる際には故事に倣い「蘇民将来」と唱え、無病息災を祈念します。

今回初めて参加された方は、「日本の伝統行事を体験することが出来て清々しい気持ちになった」と、感想を述べていました。





平成二十九丁酉年 初詣賑わう御社頭

神様のご加護を授く

平成二十八年の大晦日、宵闇に包まれた境内に静かに集まり始めた氏子崇敬者はやがて列となつて、除夜を待ちます。各々行く年来る年に思いを馳せる中、愈々新年の幕開けを告げる大太鼓の荘厳な音が境内に響き、平成二十九丁酉年の元旦を迎えました。

相模原市内外より亀ヶ池八幡大神の廣大無辺なる御神徳を仰ぐ参拝者の表情も新年を迎えた喜びに晴れやかで、元日より御社殿では家内安全・厄除け・商売繁盛等の御祈禱が続き、お守り・絵馬・破魔矢等を受ける老若男女で境内は埋め尽くされました。



第3回 稚児行列

6月25日、午前10時より第3回「お稚児さん行列」が執り行われました。

古来より稚児（幼い男女児）には神靈が降臨するものと考えられ、神聖視されていたことから揃いの古式ゆかしい装束を身に付け、きらびやかな天冠や烏帽子を頭上につけ、手持ち花を持って神前に参拝していたのです。

当日はちびっこ達の準備が整うと、それぞれ親御さんに見守られながら参集殿前に並び、鳥居から参道を進み、神苑を無邪気に元気よく行進する様は大変微笑ましく和やかな行事になりました。お子様の健やかな成長をご祈念申し上げます。

